

第16週(4月15日～4月21日)トピックス：＜海外渡航先での感染症＞

ゴールデンウィークや夏休みは、連休を利用して海外に渡航される方が多くなります。海外では、食べ物、飲料水、虫刺されなどから日本では流行又は発生していない感染症に感染することがあります。海外に出かける際に注意すべき感染症はたくさんありますが、今回は蚊媒介感染症と麻疹について取り上げました。

●蚊媒介感染症

流行地域などにおいてウイルスを持った蚊に刺されることによって感染します。疾患により流行地域や媒介する蚊が異なり、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、黄熱、マラリアなどがあります。特に、デング熱はここ20年ほどで感染者数が急増し、熱帯・亜熱帯地域で大規模な流行を繰り返しており、日本国内でも例年、他の蚊媒介感染症に比べて多くの輸入感染例の報告があります(図1)。流行地域へ行く際は、長袖・長ズボンを着用するなどして肌の露出は避け、虫除け剤を利用するなど、蚊に刺されないよう対策することが重要です。

●麻疹

麻疹は感染力が非常に強く、空気感染・飛沫感染・接触感染でヒトからヒトへ感染が伝播し、世界中で患者が発生しています。COVID-19による渡航制限の影響が薄れた2022年以降、世界的に麻疹症例の報告数が増加しています(図2)。人口100万人当たりの麻疹報告率を見ると、東南アジア、東地中海、アフリカ地域で特に多く報告されています(図3)。麻疹には特効薬がなく、2回のワクチン接種が最も有効な予防法です。海外への渡航に際しては、予防接種歴を確認し、2回接種していない場合は予防接種を検討しましょう。

海外に渡航する予定がある場合は、渡航先の感染症の発生状況に関する情報を入手し、予防接種が受けられる感染症については、余裕をもって医療機関などに予防接種の相談をしておくなど、適切な感染予防を心掛けましょう。

■海外で注意すべき感染症については、厚生労働省検疫所のホームページ「FORTH」に最新の情報が提供されています。
<http://www.forth.go.jp/index.html>

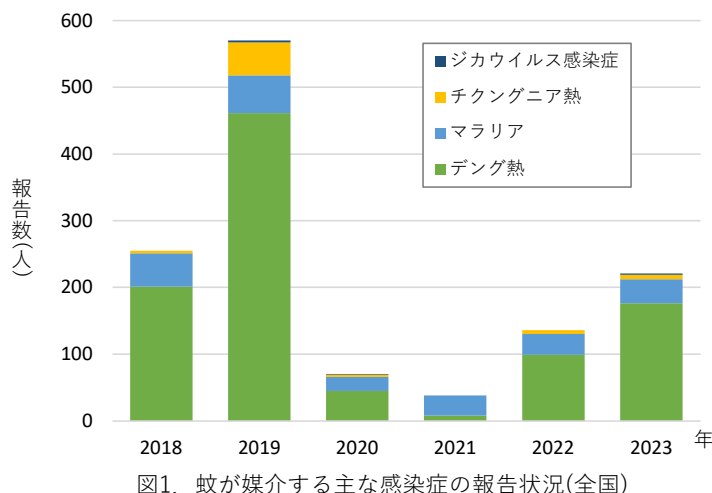


図1. 蚊が媒介する主な感染症の報告状況(全国)

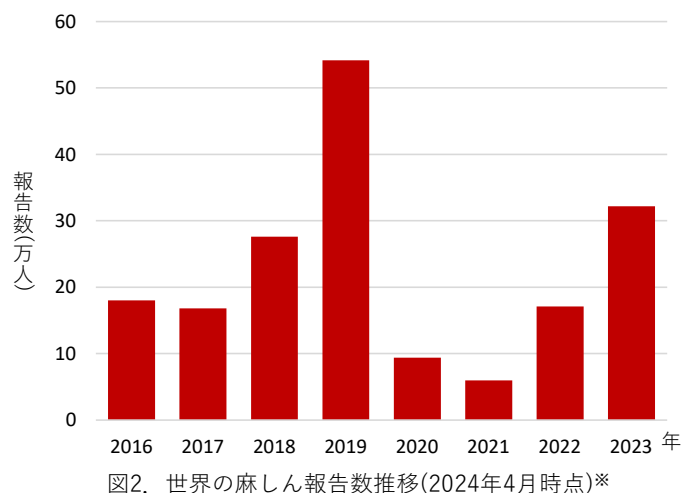


図2. 世界の麻疹報告数推移(2024年4月時点)※

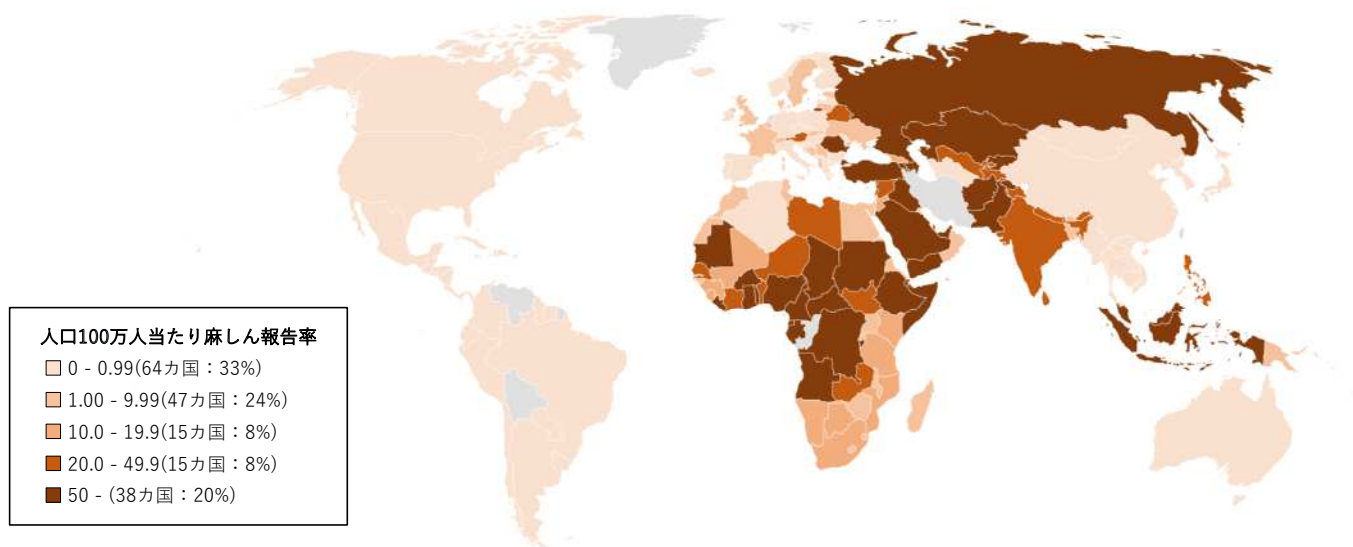


図3. 世界における麻疹の流行状況(令和5年1月～令和5年12月)※

※出展：WHO Measles and Rubella Global Update April 2024 (データを一部編集し使用)

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>